



本年度は今回を含め3回の開催を予定しています。

雲南市教育と子育てを考える市民会議委員
任期：平成18年8月29日～平成20年8月28日

は会長、は副会長（敬称略）

地域名等	分野	氏名
大東	教育	山本 義人
	子育て	植田 喜久代
加茂	教育	高木 喜美
	子育て	常松 君代
木次	教育	若槻 雅人
	子育て	大森 祥子
三刀屋	教育	若槻 一
	子育て	須山 幸美
吉田	教育	横木 壽成
	子育て	小田 芳枝
掛合	教育	森山 緑
	子育て	藤原 香
市全体	公募	河野 嘉江
	学識経験	秦 明德
芸術文化	分野代表	田中 昭夫
	分野代表	峠 理恵
スポーツ	分野代表	平井 礎
	分野代表	北湯口 純
医療	分野代表	川角 光子
	分野代表	井上 静子

第1回雲南市教育と子育てを考える市民会議

8月29日、雲南市教育と子育てを考える市民会議が市役所で開催されました。

この市民会議は、雲南市教育基本計画（平成17年5月策定）を推進するため、今後の教育のあり方を検討、提案をしていくために設置したもので、20名の委員で構成されています。

当日は役員選出に続き、教育委員会と健康福祉部の各担当者が今年度の主要施策について説明をした後、「家庭の教育力」をテーマに議論されました。

出席された委員のみなさんからは「子どもの居場所づくり事業の地域格差について」「食育について」「親子の関わり方、子どもへの接し方について」など、それぞれ貴重なご意見をいただきました。

今回の会議内容の詳細は、市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧下さい。

※1 雲南市教育基本計画は、平成17年度～平成21年度の5年間とし、教育推進の指針として市が進むべき教育の基本方向を示したものです。

この計画は、合併以前から雲南市の教育の現状、課題を踏まえ、学校、地域、行政の一体的な取り組みの中で、教育の方向性を検討してきた「教育創造プロジェクトチーム」内で審議され、パブリックコメントによる市民の意見を加えたものです。なお、市民会議の設置については、基本計画第1章に示されています。



祝 卒寿 木次線開業90周年



木次線の宍道～木次駅間が簸上鉄道として開業してから、今年で90周年を迎えました。10月7日、8日には、JR木次駅構内を中心に、各種記念イベントが開催され、なかでも、両日限定で運行された「ちどり号」と同形式の車両は、乗車券が発売後すぐに完売するなど好評で、出発式には、懐かしい姿を一目見ようと大勢の人が訪れました。

木次線の生い立ち

大正3年、簸上鉄道株式会社が設立され、線路実測が行なわれた。翌大正4年10月、宍道～木次間21kmの線路建設に着手。1年をかけた、簸上線の線路敷設が完了し、大正5年10月11日には、開通式が行われた。やがて昭和2年12月には、山陰と山陽を鉄道で結ぶための鉄道工事が始まった。このうち下久野トンネル（全長2241m）工事は、堅い地盤のため難航し、3年4か月の歳月をかけた昭和6年4月に完成した。



昭和34年頃木次駅構内

この大工事の後、昭和7年に木次～出雲三成間が、昭和9年に出雲三成～八川間がそれぞれ開通した。

そして、昭和12年12月12日、八川～備後落合間が開通すると、宍道～備後落合間81・9kmは鉄道で結ばれた。

木炭列車からトロッコ列車へ



昭和49年から木次体育館前に展示されているSL(C56 136号)

簸上鉄道開業当時、木炭をはじめ砂鉄、米、牛などが主に運ばれ、客車3両に対して、貨車は33両あった。

昭和31年には、10万7千トンの貨物運び貨物量のピークを迎えた木次線も、昭和57年には、貨物列車が全面廃止となった。

また、昭和28年10月から快速列車「ちどり」が、昭和32年から軽油で運行するレールバスが、それぞれ煙の出ない気動車として登場した。さらに、無煙化は進み、昭和41年から普通列車のディーゼルカーが登場すると、昭和46年にはSL基地が廃止となり、全線が気動車運用区となった。現在、木次線では、新型気動車によ

年表

大正5・10	簸上鉄道(宍道)～木次間開業
昭和2・12	下久野トンネル工事着工(難工事)
昭和7・12	国鉄線、木次～出雲三成間開業
昭和9・8	簸上線宍道～木次間、国鉄線へ
昭和9・11	出雲三成～八川間開業
昭和12・12	八川～備後落合間開業
昭和28・10	(木次線81・9km全線開通)
昭和33・12	快速ちどり号運転開始
昭和34・12	(昭和34年に準急行へ)
昭和38・11	レールバス運転開始
昭和39・2	(昭和40年まで営業運転)
昭和39・7	木次線管理所設置
昭和44・4	豪雪(全線で85カ所の雪崩)
昭和45・8	山陰豪雨
昭和46・10	(木次駅構内、土砂で埋まる)
昭和46・10	旅客列車全線無煙化
昭和46・10	木次線管理所廃止 機関区設置
昭和46・10	SL基地廃止
昭和57・11	貨物列車もディーゼルとなる。
昭和62・4	木次線の貨物列車廃止
昭和62・4	JR西日本旅客鉄道会社となる。
平成2・6	木次運転区設置
平成4・4	木次鉄道部発足
平成4・4	ワンマン運転開始
平成10・4	新型気動車キハ120形配置
平成10・4	トロッコ列車「奥出雲おろち号」
平成16・7	トロッコ列車「奥出雲おろち号」
平成17・11	乗車10万人達成
平成17・12	木次駅3番線廃止
平成17・12	豪雪のため、横田～備後落合間運
	休 (12/22～3/29)

雲南市長が「ハハ」

10月1日、市内の各地で体育祭が行われました。お昼前後から雨になりましたので、最後まで実施された所、途中までの所と様々だったようです。昨年は開催日のほとんどが雨でしたので、合併後はじめての地域が多かったようです。私の地域も昨年、一昨年と雨で流れましたので、合併後初めての体育大会でした。朝、地域の皆さんとテント張りしてる間にポツときました。うわっ大変、また今年も流れるかとの不安を抱きつつ開会式も早めに行われ、途中小雨もありましたが、なんとか最後の種目まで行われました。

これまでは旧役場主催でしたが、今回は地域自主組織が力を合わせ、市民の皆さんが力を合わせての開催であつただけに大変意義深かったことと思いますし、こうした取り組みが「地域の力」を育むと実感した次第です。

私も平素の運動不足解消にと、かこのついたヘルメットをかぶり、その上にボールを乗せて走るヘッドバランスという種目に出場させてもらいました。中々バランスよく走れましたが、「市政運営もこうありがたい」と思いました。



木次線開業90周年記念イベント 10月7日、JR木次駅にて